

報道関係各位

～来年のミュージカル本編に向けて、いよいよヒロインが登場！～

## 『目指せ ミュージカル水戸黄門？』制作記者発表のご案内

～茨城県が生み出した才能豊かな若者たちがステージに結集！～

いばらき大使の安達勇人さんをキーマンに、東京や茨城を拠点に活躍するさまざまなジャンルのアーティストが一つの舞台を創っていくプロジェクトの第三弾。来年のミュージカル本編に向けていよいよヒロインが登場します。茨城県出身の現役のアイドルが出演し、茨城の魅力を全国に発信していきます。この度、制作記者発表を下記の通り行います。

何卒この機会に、貴媒体にてご取材、ご紹介くださいますようお願い申し上げます。

ご取材ご希望の際は、お電話またはファックスにて事前に下記宛先までご連絡をお願い致します。

ADACHI HOUSE ラボ 新・未来サポート事業

### 『目指せ ミュージカル水戸黄門？』～<sup>ロマンス</sup>光圀青春篇～ 制作記者発表

日時 2022年4月12日（火）13:00～14:00（12:45 受付）

会場 水戸芸術館 会議場

出席者 安達勇人（歌手・俳優・声優）、高根正樹（俳優・アイドル）、  
ICHI（Locking ダンサー） ★ヒロインは、当日発表します。  
橋本昭博（演出）、井上 桂（構成・脚本）、  
小佐原孝幸（スーパーバイザー）岡本由紀夫（水戸芸術館演劇部門 芸術監督）

内容 ・ 演劇部門 新芸術監督 岡本由紀夫よりご挨拶  
・ ヒロイン発表・スタッフ・キャスト紹介など  
・ 質疑応答、写真撮影 ※出席者プロフィールは別紙参照

水戸芸術館 広報係 担当：川崎宛

<ご取材お申込み用紙>

FAX : 029-227-8110  
TEL : 029-227-8111 (代表)

御社名 \_\_\_\_\_

御芳名 \_\_\_\_\_

人数 \_\_\_\_\_ 名

TEL \_\_\_\_\_

個別インタビューご希望（出席者名： \_\_\_\_\_ ）

水戸芸術館 ACM 劇場+ADACHI HOUSE ラボ  
新・未来サポート事業『目指せ ミュージカル水戸黄門?』制作発表登壇者プロフィール



安達勇人 Yuto Adachi

桜川市出身

ミュージカル『忍たま乱太郎』『王室教師ハイネ』『フルーツバスケット』の出演のみならず、茨城県をため 2018 年から 1500 人規模の町おこし音楽フェスを開催するなど、いばらき大使としても精力的に活躍中。2020-2021 年は単独での東名阪 Zepp LIVE ツアーを開催。カフェ、ファッションブランドなどのプロデュースも手掛ける。

歌手・俳優・声優



\*映像コメント出演\*

加藤良輔 Ryosuke Kato

水戸市出身

2004 年ミュージカル『テニスの王子様』でデビュー。以来、ミュージカルからストレートプレイまで幅広く活躍するオールラウンドプレイヤー。RSK 名義でのアーティスト活動も行っている。直近の出演作として音楽劇『ガリレオ☆CV』『ヒプノシスマイク』RICE on STAGE『ラブ米』など多数。

歌手・俳優



高根正樹 Masaki Takane

日立市出身

サンリオピューロランド公式アイドル「ピューロボーイズ」のメンバー。2014 年、松竹ミュージカル『ザ・オダサク』で初舞台。バレーボール、テニスの経験を生かしてミュージカル『テニスの王子様シリーズ』、『ハイキュー!!』に出演するなど活躍。ほかに『ちっちゃな英雄』『ふしぎ遊戯～蒼の章～』ミュージカル『刀剣乱舞』など。

俳優・アイドル



ICHI

つくば市在住

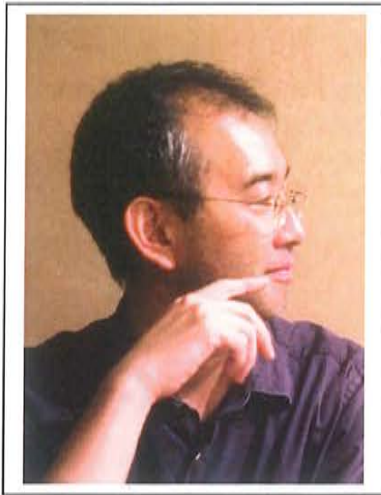
2006 年より LA に渡り、“THE LOCKERS”のメンバー等数々の OG 達から確かなカルチャー、テクニックを直接学ぶ。今や日本屈指の LOCKER で、国内外の様々な BATTLE で優勝経験をもつ茨城の PURE FUNK DANCER。海外でのワークショップ、ジャッジの経験を経て、アスリートへの指導など活動の幅を広げている。

Locking ダンサー

ヒロインは当日発表します。



## STAFF



### 構成・脚本:井上 桂 (前・水戸芸術館演劇部門芸術監督)

大学生時代より野田秀樹氏の夢の遊眠社、井上ひさし氏のこまつ座などから演劇に関わり、大学卒業後は演出部・舞台監督・舞台制作者として活動し、1996年の新国立劇場の開場とともに演劇制作部プロデューサーとして、渡辺浩子、栗山民也両芸術監督の下、企画制作を行う。2005年新国立劇場に国立としては初の俳優養成の研修所が開設されるとその運営を栗山氏と'10年まで担う。以降はフリーとして活動しつつ、'12年より日本芸術文化振興会プログラムオフィサー(演劇部門)に就任し、文化事業に関わる様々な委員などを歴任。'17年4月~22年3月、水戸芸術館演劇部門芸術監督に就任。国内で初めてとなる宮崎駿オリジナル作品の舞台化(『最貧前線 宮崎駿の雑想ノートより』)などで、水戸芸術館を改めて全国に紹介した。



### 構成・演出:橋本昭博

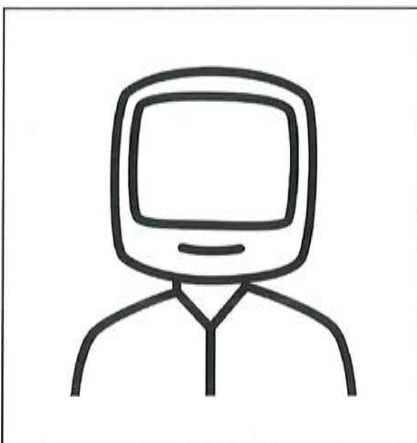
茨城県ひたちなか市出身。

桐朋学園芸術短期大学卒業。俳優・演出家・Moratorium Pants 主宰。12歳で初舞台を踏み、2011年、演劇プロデュースユニット Moratorium Pants を旗揚げ。全作品のプロデュース・演出を手がける。詩人の谷川俊太郎氏の作品やオリジナル作品を上演。『新羅生門』『リボンの騎士』('11年、横内謙介作・演出)、てがみ座『汽水域』('14年、扇田拓也演出)など外部公演への出演も多数。他にも、'13年シンガポールとの国際共同制作舞台に出演、'14年上田慎一郎監督映画『彼女の告白ランキング』で水戸短編映像祭ベストアクター賞受賞、'15年ユース非核特使として世界一周、表現教育指導者として教育現場でも活動を展開するなど、多岐に渡って活動中。'19年3月には、穂の国とよはし芸術劇場 PLAT で「2018年度 市民と創造する演劇」でシェイクスピアの『リア王』の演出を担当する。また'

21年から小美玉市の文化創造コーディネーターに就任。

水戸芸術館 ACM 劇場には『十二夜』('15年、森新太郎演出)、音楽劇『夜のピクニック』('16年、深作健太演出)、『海辺の鉄道の話』('18年、詩森ろば作・演出)の出演に続き、今シリーズが初の演出としての参加となる。

演劇プロデュースユニット モラトリアムパンツ <https://moratoriumpants.wixsite.com/mp2016>



### スーパーバイザー:小佐原孝幸

常磐大学コミュニケーション学科助教。2009年よりアート・デザインを通してひたちなか市の活性化プロジェクトに携わる。15年地域性を取り入れた『ひたちなか海浜鉄道湊線駅名標』のデザインでグッドデザイン賞受賞。環境芸術学会理事。